

トークイベント開催！

11月23日（祝・土）24日（日）
午前11時～の上映回の終了後

登壇者



僧侶・公認心理士
佐々木慈瞳さん



元NHKアナウンサー（本作語り担当）
杉浦圭子さん

本作監督
溝淵雅幸

※登壇者は予告なく変更となる場合があります。
トークイベントのみの入場は出来ません。

たとえ病の中に在っても
人には願いがある
その願いを叶えたいと
祈る人々がいる
そして願いが叶ったとき
そこは喜びの空間になる

溝淵雅幸 監督作品

近江モーション

願いと 祈りと 喜びと

後援： ホスピス財団

特別協賛： 株式会社 桑原組

公益財団法人近江医療社
 ヴォーリス記念病院

協賛： 関西みらい銀行

旭食品株式会社

HIYOSHI

Special Thanks： Rotary

ひわ湖八幡ロータリークラブ

語り：杉浦圭子 音楽監督：ザビエル大村 撮影：長谷川 智章、落合 温史 録音：増田 岳彦 映像技術：服部 正樹 カラーグレーディング：林 佑也
タイトル：西川 和那 サウンドミキサー：吉田 一郎、朴 京一 プロデューサー：松山 秀行 撮影協力：ヴォーリス記念病院／赤松在宅診療クリニック
近江鉄道株式会社／一般財団法人 近江八幡観光物産協会／篠田の花火保存会／近江八幡市 技術協力：株式会社スタジオ・ピーアンドエム／有限会社ガリレオクラブ
Ballast9／株式会社スレタポ／有限会社ささと 制作：R's STAFF 製作・配給：株式会社アスツナグエイソウ ■ 2024年／日本／カラー／4KDCP／100分

琵琶湖を望む近江の地、美しい自然と郷土行事を背景に、

そこに暮らす人々の医療を支えるホスピス医と患者・家族の心温まる交わり。

それは、誰もが迎えるいのちの終わりに最期まで寄り添うという、

ホスピスケアの実践であり、観る者に希望を与えるメッセージになるであろう。



柏木 哲夫

ホスピス財団 理事長
淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長



ありがとうございました。

山川永市最高の人生でした。

楽しかった うれしかった 毎日ワクワクの人生に

ささえて下さった方々にお礼を申し上げます。

バンザイ、バンザイ 我が人生に、感謝します。

最後に、天の川に向け一人旅の出発です。

空の色、水の音、菜の花、鶯の
声、桜の花、笹飾りの短冊。
近江八幡の祈りの行事とともに
季節はめぐり、その空の下で、この
地に住む人たちの時が刻まれる。
ストーリーがあるわけではない。
主人公がいるわけではない。
遠からず永遠の別れがくること
をみんなが知りながら、思わず
笑ってしまうやりとりや、感謝
の言葉や、そして万感の思いと
惜別がそこにある。
人生さいごのときに、この映像
が残ることの
意味はとても
深い。



高橋 都

医師・NPO法人日本がんサバイバーシップ
ネットワーク 代表理事

真昼の眩しい太陽とは違って
夕焼けは日が落ちてからも空
を照らし染め上げる。

見えない場所からの光は繊細
で刻々と変化し、それは夜明
け前の輝きにも似ている。

人生の夕映えを切り取ったよ
うなこの映画に、あらためて
今ここにあるすべてのいのち
の夜明けに気づかされた。

願いと祈りと喜びが素直に湧
き上がってきた。



佐々木 慈瞳

僧侶・公認心理士

11月22日(金)より先行公開
イオンシネマ近江八幡

■お問合せ 0748-37-3433 (自動音声ダイヤル)

〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町190-9 イオン近江八幡ショッピングセンター2番街4F

<https://www.aeoncinema.com/cinema/oumihachiman/>

11月22日(金)と25日(月)以降の
上映時間は劇場ホームページでご確認、
もしくはお問合せください。